

ふきのとう①

5/14 (木)

名まえ

--

一、おうちの人といっしょに、きょうかしよをよみましょう。(十三ページ～二十三ページ)
※あたらしいかんじのよみ方を、きょうかしよにかきましょう。

二、どんな おはなしだと おもいますか。(れい ○○が○○しているおはなし)

--

三、どんな とうじょうじんづつが 出てきますか。

(「とうじょうじんづつ」とは、おはなしの中に出てくる人のこと)

--	--	--

--	--

四、おはなしをよんだかんそうを書きましょう。

(「とうじょうじんづつについて思ったことなど」を書きましょう。)

--	--	--

● 音読の くふうを 書きましよう。

よが あけました。

あさの ひかりを あびて、

竹やぶの 竹の はっぱが、

「さむかったね。」

「うん、さむかったね。」

と ささやいて います。

雪が まだ すこし のこって、

あたりは しんと して います。

どこかで、小さな こえが しました。

「よいしょ、よいしょ。おもたいな。」

竹やぶの そばの ふきのとうです。

雪の 下に あたまを 出して、

雪を どけようと、ふんばって いる ところです。

「よいしょ、よいしょ。そとが 見たいな。」

たいせつだと おもった 音読の くふうを 書きましよう。

音読のくふう

音読のくふう

音読のくふう

音読のくふう

ふきのとう①

名まえ

[Empty box for name]

一、おうちの人といっしょに、きょうかしよをよみましょう。(十三ページ〜二十三ページ)

※あたらしいかんじのよみ方を、きょうかしよにかきましょう。

二、どんな おはなしだと おもいますか。(れい) ○○が○○しているおはなし

(れい) ふきのとうががんばって
あたまを出そうとしているおはなし

三、どんな とうじょうじんぶつが 出てきますか。

(とうじょうじんぶつ)とは、おはなしの中に出てくる人のこと

ふきのとう

竹やぶ

雪

お日さま

はるかぜ

四、おはなしをよんだかんそうを書きましよう。

(とうじょうじんぶつ)とは、おはなしの中に出てくる人のこと

(れい)

ふきのとうはがんばっていると

思いました。お日さまは、しん切だ

と思います。

● 音読の くふうを 書きましよう。

音読のくふう
小さな声で

よが あけました。
あさの ひかりを あびて、
竹やぶの 竹の はっぱが、
「さむかったね。」
「うん、さむかったね。」

音読のくふう
ささやいて
まをあけて
ゆっくりと

音読のくふう
力を出して

と ささやいて います。
雪が まだ すこし のこって、
あたりは しんと して います。
どこかで、小さな こえが しました。
「よいしょ、よいしょ。おもたいな。」
竹やぶの そばの ふきのとうです。
雪の 下に あたまを 出して、
雪を どけようと、ふんばって いる ところでは。
「よいしょ、よいしょ。そとが 見たいな。」

音読のくふう
ふんばって

たいせつだと おもった 音読の くふうを 書きましよう。
(れい)ふきのとうが雪の下でがんばって
いるので、小さなこえでゆっくり読む。